

国際サーカス村通信	VOL13NO1	2008年8月8日(金)
		文責 西田 敬一
編集 NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688 mura@circus-mura.net http://www.circus-mura.net		

● 東京公演、無事に終える

今期の発表会は「マールイ・サーカスの一日」として、学校体育館と東京都児童会館で行いましたが、どちらも多くのお客様が見え、無事、終了することができました。特に東京公演では、仕込み時間がわずかに前日2時間、当日4時間というハードなスケジュールのなか、生徒一同、懸命になって働き、公演にこぎつけることができました。照明、音響などはプロの方々に手伝ってもらいましたが、おかげで、生徒たちはいろいろと学ぶことがあったらと思います。もちろん、なかにはポカンとしている生徒もいましたが、こうゆうチャンスにいかんが学習するかで、これから先の一步が開けてくるはずです。特にサーカスでは自分の演目の道具はもちろんのこと、それらをセットすることを含めて、さまざまな作業があります。それはみんなで言う作業で、それこそがサーカス公演ともいえます。そのことに気がつかないようでは、サーカス向きではないのかもしれないかもしれません。

東京公演をご覧になった方々のアンケートにも、楽しかった、がんばっているなどの文字が並んでいましたが、とはいえ、生徒たちの実力はまだまだ本格的なサーカス・アクトのレベルではありません。ジャグラーのミスが多いという指摘やもっと身体的なスキルアップをとという意見もあります。

しかし、今回の公演内容が、サーカス学校のこれまでのひとつの到達点です。と同時に、これから先のことを考えなければならない局面を明らかにしているのも事実です。現在の生徒たちを、個人としてみれば、大道芸などでそれなりの収入を得ることができるメンバーはそれほどいません。また大道芸で演じられない空中モノの演技しかできない生徒もいます。

しかしなんとか多少とも収入を得られるような活動を、ある程度、積極的に行う必要があるかと思っています。それを考えなければならないのは、個人で自立できる実力がなかなか身につかないからです。

本来、当校では、生徒たちの収入の道を見いだすことに重点を置いていません。サーカスで活躍できるかどうか。それは本人の実力であって、世界のあちこちのサーカスに、自分たちでプロモーション・ビデオを送り、採用してもらおうかどうかです。それがサーカスで働くことです。サーカス学校で技術を身につけたからといって、学校がサーカス団に斡旋するわけでもありません。したがって、当校としてもそのようなことをする必要もなければ、そうしたところで、その生徒が採用されるか保障などありません。端的に言えば、実力の世界ですが、世界のサーカスのレベルは極めて高いので、当校の生徒の実力ではサーカスで働くことはほぼ不可能です。

こうした現状を踏まえながら、さて、それでもなんとか活動できないかというのが、いま僕らに課せられている問題ともいえます。

そこで考えているのが、大道芸・サーカス団“マールイ一座”です。

これは、3、4人から5、6人のグループで、各地を回る、それこそ本当にマールイ（ロシア語で小さい）、マールイ一座ができないものかというものです。もちろん、自分たちでコースを切るなど不可能なので、公演地ごとにプロデュースしてくださる方を見つけなければなりません。それと、これに参加するからといって、参加者が十分な収入をうることはできません。むしろ、この計画から自分たちのショーのあり方も追求し、いかにすれば活動を継続できるかを創造しなければならないのです。

サーカス学校での訓練はいま以上に熱心に、そしてなんとか自分たちの生きる道を作りだす、それが、サーカス学校の第二段階ということかもしれません。

● 九月十六日、授業再開。

サーカス学校8年目は、9月16日から始まります。

前述しましたが、これから先のことを考えなければならなくなっています。僕の心のなかには、従来通りに、ひたすら練習する、それだけの学校でいいんだという考えがあります。このスタンスを変える気持ちはありません。サーカス学校を途中で止めて、大道芸のパフォーマーになる者や、ちょっとしたショーにでられる道を選ぶ者もいます。そうした活動が良いと思うものはそうすればいいでしょうが、サーカス学校の練習第一主義を変更し、ただ単にちょっとした技術を習得するだけの学校にするつもりはありません。あくまでサーカスのプロが生まれてくるための学校でありたいと思います。

だが問題は、それだけの力がなかなかつかないということです。本人の能力の問題もあります。どんなにがんばっても、現段階よりも高度な技が身につかないと思われる生徒は少なくないのです。そうした生徒たちをどうすればいいのか。あきらめさせるのか、それともなにか続ける方法はないかを研究すべきなのでしょう。

こうした現状を踏まえながら、8年目を始めようとしています。

● 新潟・十日町市へ

大道芸・サーカス団“マールイ一座”の試験的な活動を開始します。場所は、新潟県十日町市です。大地の芸術祭・トリエンナーレが行われている十日町市（次回は来年）。ここにある村落の夏祭りに、8月14日と26日に参加します。まだ、マールイ一座の仕組みができあがっているのではないのですが、試験的な活動をしてみたいと思っています。

できれば、会場の樹木などを活用してエアリアルの演目ができないものかと、先日、現地を視察したのですが、適当な支柱を見つけることができませんでした。しかし、どうすれば、空中モノができるか、これは、与えられた課題として、なんとか解決策を見つけるなり、作りだすなりしたいと考えています。

● 月例会

議 題	ヴェトナム・カンボジア報告
報告者	西田敬一 大野洋子
日 時	2007年8月21日（木）
場 所	千駄ヶ谷区民館
問合せ	03-3403-0561（ACC）

各サーカス団コース

★キグレNewサーカス

○秋田公演 2008年7月19日(土)～9月15日(月) 火曜休演

会場：秋田市新屋町割

旧秋田空港跡地 ☎018-853-4678

○郡山公演 2008年10月11日(土)～11月30日(日) 月曜休演(月

曜が祝日の場合は火曜)
会場：郡山カルチャーパーク駐車場

★ポップサーカス

○富山公演 2008年7月19日(土)～8月31日(日)

休演 8/11 8/19 8/26 ☎0766-57-3301

会場：太閤山ランド東隣特設会場

○防府公演 2008年9月13日(土)～10月19日(日) 木曜休演

会場：山口県防府天満宮北側特設会場

☎0835-26-3055

★木下サーカス

○千葉公演 2008年6月7日(土)～8月27日(水)

木曜休演 但し8/6 8/14は開演

会場：千葉みなと駅東300メートル特設会場 ☎043-203-0117

○大阪花博公演 2008年9月7日(日)～11月30日(日)

木曜休演 その他 9/10 10/8 11/12

会場：花博記念公園内

☎06-6372-0015 9/3以降06-6915-0027

★モスクワ・イリュージョンサーカス

期間：2008年8月2日(土)～8月31日(日)

場所：ルフツリゾート (北海道虻田郡留寿都村字泉川13)

☎0136-46-3331

★カンボジア・サーカス

期間：2008年9月13日(月)～11月24日(月)

火曜休演 但し、9月23日(火)は公演、24日(水)休演

場所：野外民族博物館・リトルワールド(愛知県犬山市)

☎0568-62-5611

★ 加納真実公演 “時間、時間！ 加納の小一時間！！ 2！！！”

公演日：9月22日（月）～24日（水）

会場：h e a t r e i w a t o（東京新宿区神楽坂上）

☎03- 3403- 0561（アフタークラウディカンパニー）

*同封ちらし ご参照

★ 台風の芽VOL6

期間：2008年9月5日（金）6日（土）7日（日）

場所：スタジオP. A. C（練馬区羽沢3- 39- 6）

出演者：くるくるシルク、他

☎03- 3993- 9418

★ ワークショップ・サーカス的な身体表現術

期間：2008年9月12日（金）～9月15日（月）

場所：MGGエスパース（神奈川県足利郡松田町寄5855）

☎045- 231-6543（むごん劇かんぱに）

*同封ちらし ご参照